

4年間で学び、成長する「育ちの木」へ

2022年度 共通教育科目 ガイドブック

2022

INDEX

- P 01 これからの時代を生きる皆さんへ
- P 02 共通教育科目 一覧
- P 03 コア科目
- P 06 人間教育 基礎科目
- P 15 人間教育 演習科目
- P 26 言語文化科目・情報関連科目・体育関連科目・教職課程科目
- P 30 人間力育成 実践科目
- P 35 人間力育成 実践科目(自主講座)

ガイドブック略称・表記について

各科目の一覧表の表記について		
単位数	数字のみ	講義
	[]	演習
	()	実験・実習及び実技
標準開設年次	◎	通年
	○	前期または後期
	◇	閉講期がクラスによって違う
他学年		他学年履修可能(履修者人数等の関係で許可されない場合もある)
他	留学生のみ	外国人留学生等のための特別科目のため、それ以外の学生は履修できない

免許・資格の略称について	
教必	■幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状 必修 ■中学校教諭一種免許状・高校教諭一種免許状 必修
幼教必	■幼稚園教諭一種免許状 必修
小教必	■小学校教諭一種免許状 必修
公教必	■高等学校教諭一種免許状(公民) 必修
社教必	■中学校教諭一種免許状(社会) 必修
家教必	■中学校教諭一種免許状(家庭)・高等学校教諭一種免許状(家庭) 必修
理教必	■中学校教諭一種免許状(理科)・高等学校教諭一種免許状(理科) 必修
栄教必	■栄養教諭一種免許状 必修
保育士必	■保育士資格 必修
図書必	■図書館司書資格 必修
公心師必	■公認心理師 必修
認定心必	■認定心理士 必修
保育士選	■保育士資格 選択
認定心選	■認定心理士 選択
社教主選	■社会教育主事基礎資格 選択
社福士必	■社会福祉士受験資格 必修
精保必	■精神保健福祉士受験資格 必修
教選必	■幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状 選択必修 ■中学校教諭一種免許状・高校教諭一種免許状 選択必修
保育士選必	■保育士資格 選択必修

これからの 時代を生きる 皆さんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。東京家政大学は、皆さんが夢に向けてしっかりと歩みはじめられるよう、皆さんの学生生活を支える環境を準備しています。

いま「学生」という言葉を使いました。高等学校までは「生徒」と呼ばれたのではありませんか。「生徒」の時代には、全員が同じ時間に同じ教室に集まって一斉に活動することが多かったでしょう。「学生」になると、行動の選択肢、自由度が増し、一人ひとりが自主的自律的に行動することを求められます。大学4年間での履修計画を立てることもその一つです。

東京家政大学の学部・学科は、それぞれが充実した専門教育科目を用意しています。皆さんもご自分が入学した学部・学科の専門を身につけることを楽しみにしていることと思います。専門の学修を通じて高度な資格を取得できる学科も多くあります。そのような資格取得を目標にしている方も多いでしょう。大学では、専門教育科目の他に、共通教育科目を開設しています。共通教育科目は、文字通り、すべての学科の学生に共通に開講される科目です。専門教育の修得に強い意欲を持つ方の中に、もしかしたら共通教育科目を学ぶ意義を疑問に思う方もあるかもしれません。

(気が早いですが、)卒業し社会に出て、専門や資格を生かして仕事をしている自分を想像してみてください。あなたは一人で仕事をしていますか？おそらく、立場や年齢、国籍、性別、ものの感じ方や考え方の違う人と協力して働いていることでしょう。大学で教わらなかった問題に対して判断を求められることもきっとあります。技術の進歩や社会の変化によって、大学で学んだ専門だけでは通用しなくなることもあるかもしれません。

共通教育科目の履修を通して、学ぶ楽しさを感じ、世界の広さや多様性を知り、ものごととの向き合い方や学び続ける姿勢を身に付けてください。世の中がどう変わっても、思わぬ困難に直面しても、きっと乗り越えられます。

2022年4月1日

東京家政大学学長 井上俊哉

OUTLINE

4年間で、学び、成長する「育ちの木」へ
学びの根幹となる「共通教育科目」一覧



自主自律の 学びと生き方を 考える。

今日、世界は新しい秩序を求めて、大きく変わろうとしています。富める国、貧しい国との貧富の格差の拡大、民族間の問題、環境問題など様々な問題があります。また、国内問題としては、急速に進む、少子高齢化、人口の急減、それともなう、政治、経済、産業など社会構造の変革などがあります。これらの問題を解決するには、柔軟な女性の視点で、地に足のついた細やかな対応がこれまで以上に必要です。そこに豊かな感性、優しさ、きめ細かな配慮のような特性が生かされるとき、平和で豊かな社会の実現につながります。20世紀は、あまりにも物質文明に偏った時代でした。21世紀は人間中心、暮らし中心の時代とならなければと思います。本学はこうした新しい時代を築く、研究、教育、文化の活動拠点として、伝統を生かしながら発展しつづけています。



コア科目が取得を目指す力

コア科目 | 一覧表

区分	科目名	単位数	必選別	標準開設年次				開設学科・専攻												
				1		2		3		児学	育支	児教	服美	環教	表現	栄養	管理	英コミ	心力	教福
				前	後	前	後	前	後											
コア科目	スタートアップセミナー自主自律	2	必	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	基礎ゼミナール ※1	2	必	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	キャリアデザイン ※2	2	必				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

〈履修の詳細については学生便覧、時間割表などで確認してください。〉

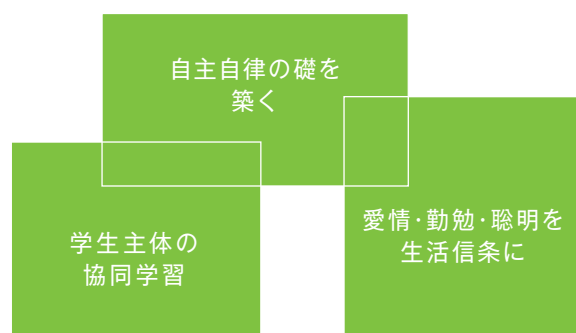
※1 開講期は学科・専攻により異なる

※2 開設年次・開講期は学科・専攻により異なる

スタートアップセミナー 自主自律

私立大学は、それぞれの建学の精神を有しています。東京家政大学の建学の精神は「自主自律」です。自主自律を貫くうえで大切な日々の生き方は、「愛情・勤勉・聡明」という生活信条として表現されています。

学部・学科が違えば興味や志向性も異なり、将来の目標も多様でしょう。しかし、学部・学科の違いを超えて、同じ大学で学ぶ仲間たちとともに自主自律の礎を築いてもらいたい。そのような願いのもと、スタートアップセミナー自主自律は、東京家政大学の家政学部・栄養学部・人文学部に入学した1年生全員を対象として開講されます。授業は、様々な学科の学生約5名でグループを作り、学生主体の協同学習で進みます(1クラスは8グループ約40名で構成されます)。最初の2回の授業では、みのりゆたかな協同学習を行うための秘訣を共有します(グループ活動に苦手意識がある人も安心して臨めます)。その後、東京家政大学の歴史から学び、さらに社会に向き合うプロジェクトに取り組みます。14回の授業を終えるころには、東京家政大学生どうしの絆が生まれ、一人ひとりが自主自律の道を歩み始める準備ができています。



ここがポイント!

異なる学科の学生5名程度でチームを作り、目標達成のために互いに協同して学ぶ科目です。学生一人ひとりが主体的に学ぶことを大切にします。上級生がスチューデントアシスタントとして授業を補助することも、この科目の大事な特徴です。

コア科目

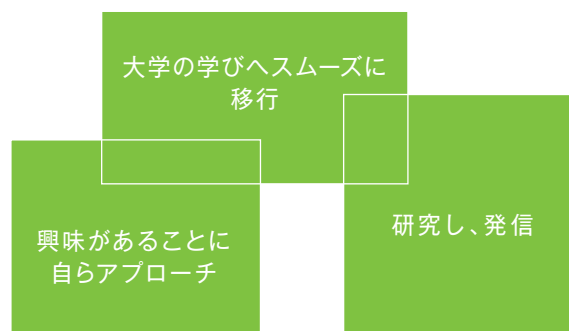
基礎ゼミナール

高校での学びから大学での学びへスムーズに移行することを目的として、東京家政大学板橋キャンパスの家政学部・栄養学部・人文学部に入学者1年生全員を対象として基礎ゼミナールが開講されます。

基礎ゼミナールは、スタートアップセミナー自主自律・キャリアデザインとともに共通教育科目のコア科目として位置付けられており、大学での学びの基盤となるものです。

高校までの学びは、どちらかというと受動的に知識を吸収することを求められることが多かったのではないのでしょうか。大学では、学修の目的と意味を考えて、興味のあることにみずからアプローチし、研究し、発信することが求められます。そのため大学の教員はみなさんを同じ目標に向かわせる導き手ではなく、それぞれが描く未来に近づくためのサポーター的な存在であると思ってください。

この授業を通して、聴く・話す・読む・書くことの基礎力を身に付けるとともに、文献の探し方やレポートの書き方等を学んで、みなさんが大学での学びに自主的に取り組むステップとしてください。

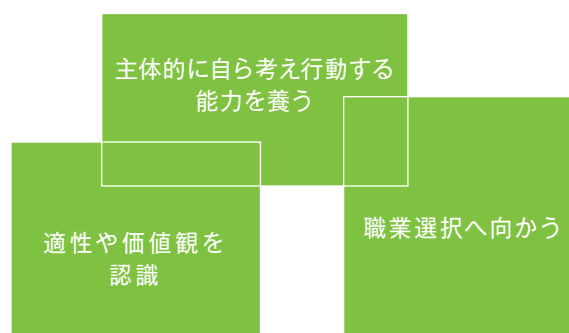


ここがポイント!

みなさんが所属している学科の専門科目もすべて基礎的な学びの延長にあります。また、大学での4年間は社会への架け橋となる重要な期間です。将来へ向けて、充実した大学生活となるよう、学びと生活のあり方を考える機会としてください。

キャリアデザイン

先行きが不透明な21世紀の社会を生き抜くためには、主体的に考え自主的に行動する能力が求められています。そのためには自分が大切にしている価値観を意識することから始まります。そのことが、それぞれの生き方という個性を明確にすることにつながります。みなさんは、この授業を通して、自分の適性や価値観を認識し、職業選択へと向かう積極的な姿勢を養う機会としてください。職業選択の際には、仕事を通して自分がどのような役割を担いたいのかということを確認にビジョンとして持っているかということが求められます。そのためにはみなさんが進もうとしている社会や業界の現実を知ることから始まります。社会で活躍している方や卒業生である先輩たちの話を聞いて、求められる社会人像を理解し、実際の就職活動に備えるとともに、現状での自己分析や自分のスキルを確認し、学修へのモチベーションを再確認してください。そして、それぞれの一生を見据えて、自分の生き方や働き方について考え、目標への具体的な道のりを描いてもらいたいと考えています。



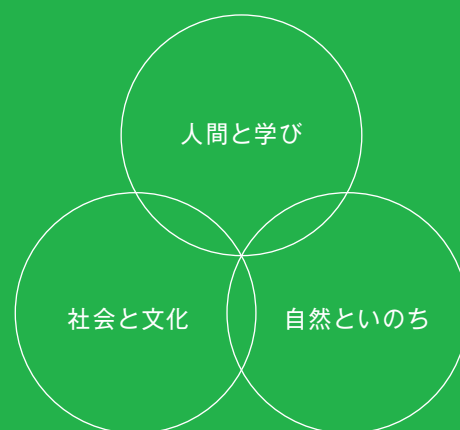
ここがポイント!

社会人としての意識を高め、独立したひとりの女性として自主的・自律的な生き方を考え、また社会とのつながりを持ちながら、女性としてのライフサイクルを考えて、職業とプライベート、両方のライフプランを、具体的にイメージする機会としてください。

教養としての 基礎を 身につける。

人間教育基礎科目は、「人間と学び」「社会と文化」「自然といのち」という3つの領域で構成されています。これらの領域の科目を学ぶことで、教養としての一般基礎力の習得を目指すとともに、自ら学び、生きる力の基礎を身につけることを目指します。また、この中には教員免許状や認定心理士、図書館司書などの資格に関する科目や、留学生を対象とした「日本事情」といった科目も用意されています。

社会で活躍するためには、単に知識を覚えるだけではなく、それらを実践場面で活かす力が求められます。さらに、物事を多角的に捉える視点、問題を客観的に分析する力、多様な価値観に対する理解なども必要となります。人間教育基礎科目は、このような社会で生きていくために必要な教養と基礎力の育成を目的としています。



幅広い教養を身につけて
自ら学び生きる力を育む

人間教育 基礎科目 | 一覧表

4単位以上選択必修

【抽】…抽選対象科目

区分	科目名	単位数	必選別	標準開設年次				開設学科・専攻														
				1		2		3		4		児学	育支	児教	服美	環教	表現	栄養	管理	英コミ	心カ	教福
				前	後	前	後	前	後	前	後											
人間と学び	【抽】 哲学入門	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】 コミュニケーション論入門	2	選			○					○	○	○	○	○		○					
	【抽】 子どもの世界	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】 芸術論	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】 心理学入門	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	哲学	2	選			○															○	
	心理学概論	2	選	○																		○
	コミュニケーション論	2	選	○						○							○		○	○	○	
人間教育 基礎科目 社会と文化	【抽】 ジェンダー論に学ぶ	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】 家政学原論	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】 生活経営学	2	選			○				○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	
	【抽】 多様な社会を生きる	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】 ライフデザイン入門	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】 教養としての歴史	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】 社会学入門	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】 経済学入門	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	日本事情 ※1	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	日本国憲法 ※2	2	選		○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	日本の歴史	2	選		○																○	
	社会学	2	選	○																		○
	経済学	2	選			○																○
家庭経営学	2	選	○									○				○						
自然といのち	【抽】 女性の健康	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】 いのちと生活	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】 生命科学入門	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
	【抽】 環境共生学	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】 統計学入門	2	選			○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	生命科学	2	選	○													○					

履修の詳細については学生便覧、時間割表などで確認してください。授業内容・授業形態の詳細についてはシラバスなどで確認してください。

※1 留学生のみ

※2 開設年次・開講期は学科・専攻により異なる

〈重要〉

- ・人間教育基礎科目は教室の収容人数により定員が定められているため、抽選によって履修者を決定します。
- ・人間教育基礎科目の履修方法は通常と異なるため、必ず「履修ガイド」を参照してください。

コア科目

人間教育 基礎科目

人間教育 演習科目

言語文化科目・情報関連科目・体育関連科目・教職課程科目

人間力育成 実践科目

人間力育成 実践科目(自主講座)

哲学入門

「生きることに意味はあるのだろうか」と、みなさんも一度は疑問に思ったことがあるのではないのでしょうか？ これは哲学の重要な問いの一つです。しかし、哲学は生きることの絶対的な意味を教えてくれるわけではありません。哲学は、むしろ、私たちは自分の生や世界にたいしてどのように向き合えばよいのか、それを自分の頭で考える力を鍛え上げていく学問です。

ここがポイント！

哲学の思想や歴史を学びながら、さまざまな事柄について「哲学する」力をつけましょう。

担当教員 | 峯尾幸之介

コミュニケーション論入門

誰もが日常的に、意識することなくコミュニケーションを行っています。でも、コミュニケーションに正解ってあるのでしょうか。TPOに応じた振る舞いはあるとしても、それが唯一無二の正解とはならないでしょう。そこで、先人たちが執り行ってきたコミュニケーションをキー概念とする洞察を学び、眼の前に浮かぶ選択肢を分析・取捨する一助としましょう。

ここがポイント！

主に社会学・心理学的思想を学び、日常におけるコミュニケーションの諸相に対して適切に把握・応答する知見を身につけます。

担当教員 | 今井信治

子どもの世界 ★

保育士選

子ども時代を経て成長した私たちは、その経験をもとに目の前の子どもたちを理解できるでしょうか。高度情報化社会に生まれる子どもたちにとって当り前の「子育て環境」は、大人には前例のない「子育て環境」です。「子どもの世界」にみられる不変性と社会性・時代性を学びながら、子ども時代は人の生涯にどのように位置づけられるかを考えましょう。

ここがポイント！

大人と異なる乳幼児の感覚や認識、生活環境と繋がって形成される「子どもの世界」について学び、子どもへの理解を深めます。

担当教員 | 是澤優子

芸術論

古代から現在に至るまで、音楽、美術、演劇や舞踏等はずねに人間と共にあり、その生活を豊かにしてきました。私たちはなぜ芸術が必要なのか。そしてなぜ芸術活動をするのか。芸術作品を前にしたとき、なにが起こるのか。美術だけではなく、音楽、舞台芸術、文学、映画などの本質にアプローチし、芸術の意味と今日の芸術の意義を考え、能動的鑑賞を学びます。

ここがポイント！

芸術作品に対峙する際に制作・鑑賞双方に必要な能動性を学び、実践に役立てることができます。

担当教員 | 手嶋尚人 / 曾根博美 / 吉野裕之 / 加藤浩子

心理学入門

私たちは、物事を知り、感じて、考えて、行動する生き物です。しかし、この当り前の事実の背後にある「仕組み」については、実は多くのことがまだ明らかになっていません。この授業では、この「仕組み」を、心理学の先人たちがどのように理解しようとしてきたかを勉強していきます。

ここがポイント！

この授業が終わる頃には、自分自身や他者について、少し詳しくなることができます。

担当教員 | 荻島大凱

哲学 ★

公教必

私たちは自分の外に出たり、他人になったりすることができないのに、なぜ自分の外に世界があり、他人が私と同じような心を持っていると知ることができるのでしょうか？ 近代の哲学者たちは、私たちが誰しも一つの主観でしかないことを自覚した上で、どの主観にも通用する普遍的な認識を追求してきました。普遍的認識の方法としての哲学を修得しましょう。

ここがポイント！

私たちは他者と生きる以上、普遍的な認識を形成せねばならないことがあります。哲学はきっとみなさんの役に立つことでしょう。

担当教員 | 峯尾幸之介

心理学概論 ★

公心師必 公教必 社福士必 精保必 認定心必

「心」とは、誰もがその存在を確かに感じているにも関わらず、どこか曖昧でつかみどころのないものといえるのかもしれませんが。心理学は、そのような「心」の仕組みや働きについて、科学的方法を駆使しながら考えていく学問領域です。この授業では、心理学の基本的な方法や視点、それらの背後にある歴史やロジックについて理解することを目標にしていきます。

ここがポイント！

心理学のロジックに触れることを通して、人間行動の意味を多角的に理解し、主体的かつ論理的に物事を考える視点を養います。

担当教員 | 丸山慎

コミュニケーション論 ★

社教主選 図書必

誰もが日常的に、意識することなくコミュニケーションを行っています。でも、コミュニケーションに正解ってあるのでしょうか。TPOに応じた振る舞いはあるとしても、それが唯一無二の正解とはならないでしょう。そこで、先人たちが執り行ってきたコミュニケーションをキー概念とする洞察を学び、眼の前に浮かぶ選択肢を分析・取捨する一助としましょう。

ここがポイント！

主に社会学・心理学的思想を学び、日常におけるコミュニケーションの諸相に対して適切に把握・応答する知見を身につけます。

担当教員 | 今井信治

ジェンダー論に学ぶ

ジェンダーとは、社会や文化によって決められる男女の行動・習慣・意識一般をさす言葉です。私たちの生活はジェンダーと深い関係があります。本講義では、容姿、教育、就労、家族、パートナーシップなど、身近な生活におけるテーマを取り上げ、私たちの社会や文化のあり方についてジェンダーの視点から考えていきます。

ここがポイント!

私たちの日常に溢れる「当たり前」をジェンダーの視点から問い直す力を身に付けたい学生はぜひ受講してください。

担当教員 | 郭麗娟

家政学原論

家政学とは、家庭生活を中心とした人間生活と環境との相互作用について研究し、その発展に資する学問です。「家政学原論」では、その内容や歴史、日常生活や社会に対する家政学的なものの見方について、幅広く学びます。当たり前だと思われる日常にも、研究対象となる学びはたくさんあることが理解できると思います。

ここがポイント!

東京家政大で学ぶ皆さん、ぜひ家政学の考え方やものの見方を学びましょう。日常生活を科学してみませんか。

担当教員 | 野崎有以

生活経営学 ★

保育士選

生活経営学は、家政学の一領域です。私たちの生活をいかに創り上げて行くかということ、利己的立場だけではなく社会の持続可能性を考慮して考えます。私たちの生活は、家族・経済・環境・情報・福祉等多くの側面と切り離すことはできません。それらを踏まえ、これから私たちが自分の暮らしを主体的に考えて行けるようなきっかけとなる科目です。

ここがポイント!

私たちの生活を主体的に創り上げて行くために必要な知識を、身近なことから勉強します。

担当教員 | 山本咲子

多様な社会を生きる

ダイバーシティという言葉聞いたことがありますか。ダイバーシティとは、「多様性」を意味します。この言葉は、これからの社会を考えていくためのキーワードです。では、なぜ、ダイバーシティが重要なのか。授業では、多数派が無意識のうちに持つ「特権」の課題に着目しながら、「多様性」を尊重することの意味やその必要性について考えていきます。

ここがポイント!

ジェンダー、セクシュアリティ、障害の有無、国籍などに関わる生き難さ。それらの課題に気づき、生きやすい社会のあり方を考えます。

担当教員 | 瀬山紀子

ライフデザイン入門

この講座は家政学部、栄養学部、人文学部の3学部10学科の主に1年生を対象としています。各学科の卒業生を特別講師としてお招きして、学生時代の過ごし方、将来の目標をどのようにして設定したか、また現在の仕事にどのように繋がっているのかなどを紹介していただいています。学生時代の学びや取得した資格が実際にどう生かされているのかなどを教示していただきます。

ここがポイント!

毎回感想文が主な評価点となりますので、真摯に授業と向き合い、学ぶことがポイントです。

担当教員 | 寺田恭子 / 塩入輝恵

教養としての歴史

「暗記が苦手で歴史が嫌い」という人が多いのではないのでしょうか。本授業では、歴史をめぐる「常識」を常に疑問視し、歴史的にモノを考えるとどのようなことかの理解や、日本・世界の歴史について学びます。その素材として、地域に残る史資料も活用し、大衆心理や女性史・社会史等を加味した授業を展開します。気づきを楽しみながら、苦手意識を払拭してください。

ここがポイント!

小学校教諭・学芸員・公務員等、将来、歴史や地域に関わる職を志望する者には特に参考になるでしょう。ぜひ受講してください。

担当教員 | 中尾浩康

社会学入門

本講義では、社会学理論を中心に社会的想像力、社会構造、文化、ネットワーク、権力、機能、社会的相互作用、地位と役割などの社会学の基本的な概念について学びます。そして、皆さんが日常生活で経験する身近な社会現象をどのように理解するのか、すなわち、個人的な経験がどのようにして社会過程によって作られるのかについて学習します。

ここがポイント!

私たちが日常生活で経験する個人的な出来事を社会的な視点で読み解く力を身につけたい学生はぜひ受講して下さい!

担当教員 | 李命姫

経済学入門

我々は無意識のうちに「経済活動」をしながら生きています。朝起きて顔を洗う時は自治体から水を買ひ、スーパーで購入した歯ブラシや歯磨き粉を消費し、登校時にはバスやJRなどの輸送サービスを利用。コンビニでバイトすれば、日本のGDP(国内総生産)に貢献します。そうした経済はどう運営されているのか。『池上彰のやさしい経済学1』を使いながら解説します。

ここがポイント!

ヒト、モノ、カネ、時間という限りある資源をどう有効活用するか——経済学のもののか考え方を知り、より賢く生きていきましょう。

担当教員 | 江本伸哉

日本事情

留学生を対象とする授業です。日本で学生生活を送るにあたって身に付けておくべき、日本の社会、歴史、地理、文化、政治・経済等についての基礎的な知識を、ハンドアウト、テレビ、新聞などを通して身につけ、自国との国際比較を行うことで、二つの国の文化に精通した、文化的国際人になることを目指します。

ここがポイント!

教科書は、新聞や雑誌など、日本の「今」を扱ったものです。東京都の文化施設に関する調査研究も行う予定です。

担当教員 | 鈴木繁幸

日本国憲法 ★

保育士選 教必

日本国憲法をその成立の経緯からはじめ、象徴天皇制、戦争放棄などをまず理解し、中心的内容である基本的人権を講義します。現代において、自己決定権、環境権、プライバシーの権利などの新しい権利も生まれているので、これらをできるだけ具体的な事例に基づいて考えます。討論も数回行いたい。自由な討論も基礎には、法的に確立した原理があると分かるように憲法の学習をすすめます。

ここがポイント!

日本国憲法の国民主権、平和主義、基本的人権の尊重などが、我々の日常生活でどのように生かされているのかが分かるようになります。

担当教員 | 大橋憲広 / 竹嶋千穂

日本の歴史 ★

社教必

本授業では、様々な史資料からどのように研究がなされ歴史叙述が生まれるのかを学ぶとともに、歴史をめぐる各自の「常識」を常に疑問視し、歴史的にモノを考えるとはどういうことかを理解することを目標とします。その素材として、地域に残る史資料も活用しながら、日本と世界の歴史・社会について学びます。また女性史・社会史等も加味した授業を展開する予定です。

ここがポイント!

小学校教諭・中学社会科教諭・学芸員等、将来、歴史に関わる職を志望する者には特に参考になるでしょう。ぜひ受講してください。

担当教員 | 中尾浩康

社会学 ★

社教必 公教必 社福士必 精保必

社会学は、近代社会の誕生の後に、これを観察するために生まれた学問です。そのため、社会学に求められるのは社会を合理的に観察することです。この講義では社会学理論を日常的な社会現象と関連させつつ紹介していきます。いつもとは違う角度から我々の日常を反省してみると、我々の日常が近代社会の特徴と深く結びついていることが発見できるでしょう。

ここがポイント!

この科目では、社会学の主要な理論を紹介しつつ、「社会学とは何か?」ということについて、概略的に講義していきます。

担当教員 | 原科達也

経済学 ★

社教必 公教必

経済学入門の続編です。『池上彰のやさしい経済学2』を使いながら、太平洋戦争に敗れ、廃墟となった日本がどうして豊かな国になれたのか。なぜバブルが生まれ、そしてはじけたのか。リーマンショックとは何だったのか。なぜ消費税は上がり続けているのか。財政危機、少子高齢化は続くのか——。日本経済には課題が山積していますが、その原因と対策について解説します。

ここがポイント!

新聞やテレビで伝えられる経済ニュースの根っこには戦後の経済史があります。歴史を知れば、経済の本質がより深く理解できます。

担当教員 | 江本伸哉

家庭経営学 ★

家教必

家庭経営学は、家政学の一領域です。私たちの生活をいかに創り上げて行くかということを、利己的立場だけではなく社会の持続可能性を考慮して考えます。家庭は、家族・経済・環境・情報・福祉等多くの側面と切り離すことはできません。それらを踏まえ、これから私たちが自分の暮らしを主体的に考えて行けるようなきっかけとなる科目です。

ここがポイント!

私たちの生活を主体的に創り上げて行くために必要な知識を、身近なことから勉強します。

担当教員 | 平野順子

女性の健康

女性が生き生きと自分らしく、自らのベストパフォーマンスを発揮して生きていくことができるように、心身の健康について学びます。授業のテーマは多岐にわたり、疾病についての知識はもちろん、ヨガなどの統合医学、労働環境の問題なども取り上げます。この科目で身につけた力を自らの健康に活かすと同時に、周囲の大切な人の健康にも役立ててくれることを期待しています。

ここがポイント！

自分の体調の変化や悩みを、自分でしっかり把握して、必要な時には専門家のアドバイスを受けることができるようになります。

担当教員 | 澤田めぐみ / 梅谷千代子 / 太田大介

いのちと生活

いのちと生活の授業では、科学的視点で、原子レベルから分子、細胞、組織、個体、地球レベルまで、さまざまな階層で“生物(生命)”について考えていきます。特に我々ヒトを含む哺乳類における脳の発生・発達のメカニズムについて深く学ぶことで、脳の可塑性(柔軟さ)について考えていきます。また、地球上のさまざまな地域で生活する生物(生命)について学ぶことで、SDGs(Sustainable Development Goals, 持続可能な開発目標)についても考えていきます。

ここがポイント！

生きているということは、奇跡のような現象の連なりです。いのちの大切さを自覚し、生涯を通じた健康の維持・増進について実践していくことができるとともに、人にも伝えることもできるようになります。

担当教員 | 林恵子

生命科学入門

私達は、生活の中で生命科学に関する様々な問題に直面します。それらを理解・解決するためには、生命科学の基礎知識が不可欠です。細菌からヒトまで、遺伝子、細胞、代謝、遺伝などのキーワードを軸に生命科学の基礎を学び、生命現象の神秘、普遍性や多様性に触れてください。また、習得した知識をもとに、社会で起こる生命科学に関連する問題を考える機会にしましょう。

ここがポイント！

ヒトと関係の深い生命科学の基礎知識を学び、ニュースなどで取り上げられる生命現象に関する話題を理解することを目指します。

担当教員 | 廣田恵子

環境共生学

20世紀後半、高度経済成長とともに発生した環境問題は、いまや地球全体のエコロジー危機にまで拡大し深刻化しています。そうしたなかで、人間社会と自然環境を一体的に捉えようとする様々な試みが展開しつつあります。循環型社会や持続可能な社会などといった具体的なテーマを取り上げながら、21世紀にふさわしい環境調和的で自然共生的なあり方を考えます。

ここがポイント！

環境問題の現状や歴史的経緯を知り、環境と調和し自然と共生する人間の営みへ向けて多元的に思考し判断することをめざします。

担当教員 | 布施元

統計学入門

インターネットの普及を経て現在はIoT(モノのインターネット)時代、私たちを取り巻く様々な情報が「データ」として活用される機会が世界的に広がっています。そうした「データ」を適切に活用するため、統計学的な思考やデータ処理の知識とスキルが求められています。本授業は統計学の基本を勉強することで、現代社会を生き抜く糧を得ることを目的にします。

ここがポイント！

高等学校の数学で学習する範囲の復習をしつつ、より広い観点で「データ」を扱う方法や解釈する視点を解説していきます。

担当教員 | 上田卓司

生命科学 ★

理教必(管理のみ)

生命科学は、医療・食品・農業・工業など現代の私たちの生活を支える産業と密接に関わっています。生命科学に関する基礎的な知識は、食と健康、地球環境、ワクチン、放射能などに関する諸問題を正しく理解するための必須の教養となっています。本科目では、生命の発生と進化、生命の多様性と普遍性、代謝系・遺伝子の複製機構などの生命現象について紹介します。

ここがポイント!

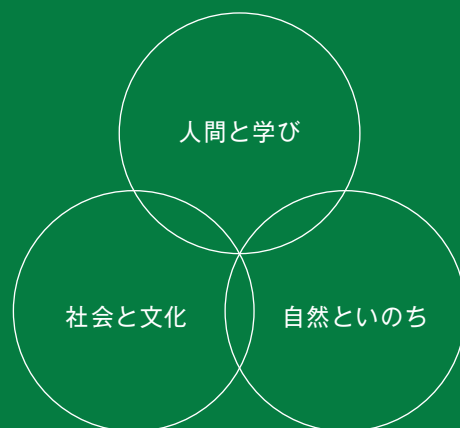
生命の発生と進化、細胞の複製や代謝など、生命科学の事象について説明でき、日常生活で得た情報を科学的に考え、理解できます。

担当教員 | 石原賢司

主体的な 学びを实践する ために。

人間教育演習科目は、人間教育基礎科目と同様に「人間と学び」「社会と文化」「自然といのち」という3つの領域で構成されています。この科目は、主体的な学びを实践するために少人数のアクティブラーニング形式で行われます。グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど、主体的・能動的な授業への参加を通して、内容を深く理解するとともに、「自ら学ぶ」という姿勢を身につけることを目指します。

現代社会では、主体的に課題を発見し、それについて考え行動する力や、他者とかかわり、議論や協働を通して新たなものを創り出していく力がますます重要になってきています。人間教育演習科目は、このような社会人として生きていくための普遍的な力の育成を目的としています。



主体的な学びを通して
生きる力を育む

人間教育 演習科目 | 履修について

- 01** 人間教育演習科目から2単位以上(1科目以上)修得する必要があります。木曜日の1・2・3時限に開講するので、履修登録の際、時間割表を十分確認してください。
- 02** 人間教育演習科目については、講座ごとに定員が決められており、すべて抽選方式で履修者を決定します。そのため、受講を希望しても履修できないこともあります。また、**受講者が5名以下の場合、原則として開講しません。**
- 03** 人間教育演習科目の標準開設年次は1~4年次とします。**学科によって推奨する履修年次が決定しているため、下の表「人間教育科目(基礎・演習科目)の履修を推奨する年次」を確認してください。**
- 04** オムニバス形式とは複数の講師により講義を行うものです。授業内容については、このガイドブックおよびシラバスを参照してください。
- 05** 詳細については、この他に「学生便覧」「シラバス」「履修ガイド&時間割表」「ポータルの手引き」を参照してください。



人間教育科目(基礎・演習科目)の履修を推奨する年次

		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
開設学科・専攻	児学	○	○					○	
	育支	○	○					○	
	児教	○						○	○
	服美	○	○					○	
	環教	○					○	○	
	表現	○			○			○	
	栄養	○						○	○
	管理	○	○						
	英コミ	○	○	○					
	心カ	○	○	○					
教福	○	○					○		

※ 1年前期にはコア科目「スタートアップセミナー-自主自律」を必ず履修すること。

※ ○がついている以外の年次・開講期についても、専門教育科目と重ならず、CAPの範囲内であれば履修することができる。

※ 抽選で当選した科目の取消しは、いかなる理由においても認められない。

人間教育 演習科目 | 一覧表

2単位以上選択必修

【抽】…抽選対象科目

区分	科目名／講座名	単位数	必選別	標準開設年次				開設学科・専攻																							
				1		2		3		児学		育支		児教		服美		環教		表現		栄養		管理		英コミ		心カ		教福	
				前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後
人間と学び	【抽】A 心と行動の科学	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】B 食育のすすめ	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】C 文学と人間	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】D 子どもと芸術をめぐって	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】E しなやかな心とからだ	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】F 美しい文章の書き方	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】G たしかな暮らしに学ぶ	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】H 手話に学ぶ	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】I 対人関係の心理学	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】J 生老病死とケア	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】K 学び方を学ぶ	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
【抽】L 心のレジリエンス	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
人間教育 演習科目 社会と文化	【抽】A 対人ケア職における英語と異文化コミュニケーション	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	【抽】B 世界のことばと事情	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】C 多様性を考える	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】D 「地球の旅」身体文化に着目して	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】E 情報社会とライフスタイル	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】F 共生社会を生きる-インクルージョン	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】G 国の仕組み・社会の制度	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】H 世界の宗教と社会を知る	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】I 人類の多様な文化	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】J 日本人と日本文化	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	【抽】K まちづくりと起業のススメ	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
【抽】L 暮らしと法律	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
【抽】M サブカルチャから見る日本	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
【抽】N メディア情報と社会を読み解く	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
【抽】O 世界の動きと私たちの暮らし	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
自然といのち	【抽】A 社会とエネルギー	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	【抽】B 身近な自然に学ぶ	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	【抽】C 自然と倫理	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	【抽】D 自然と災害	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】E 生態系と生物多様性	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】F 科学の歴史	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	【抽】G ロボットと人工知能	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	【抽】H 脳科学に学ぶ	2	選				○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

履修の詳細については学生便覧、時間割表などで確認してください。授業内容・授業形態の詳細についてはシラバスなどで確認してください。

コア科目

人間教育 基礎科目

人間教育 演習科目

言語文化科目・情報関連科目・体育関連科目・教職課程科目

人間力育成 実践科目

人間力育成 実践科目(自主講座)

人間教育 演習科目 >>> 人間と学び

A 心と行動の科学

この授業では、学習、記憶、知覚、思考などに関する心理学の基礎知識を学び、日常の人間の行動について考察します。毎日の運動を長続きさせるにはどうすればよいか、記憶はどれほど正確か、うっかりミスを防ぐにはどうすればよいか、なぜ迷信を信じてしまうのかなどの問題を取り上げ、これらに関する心理学の知見を学び、人間行動への理解を深めていきます。

ここがポイント!

授業中に簡単な実験や質問紙、ワークなどを実施し、日常の行動について考えながら心理学の基礎知識を学びます。

担当教員 | 佐藤隆弘

B 食育のすすめ

食育とは「人をよく育て、生きる力を養う教育」であり、全世代が対象ですが、特に幼児期から青年期にかけての食育が重要とされています。生きる基本である「食」のあり方について、自らの食歴を「振り返り」、食に関わる様々な因果関係に「気づき」、食育のニーズについて「考え」、食の行動変容までの過程を「企画」し、「実践」するまでに一連の流れを学びます。

ここがポイント!

食育の現場で活躍する卒業生をはじめ、農業女子、エコロジスト等をゲストスピーカーに迎えたオムニバス形式で展開します。

担当教員 | 内野美恵 / 相澤菜穂子

C 文学と人間

「居場所探し」を描いた文学作品を読み、小説中の人物はどうかやって居場所を探すのかを出発点にして、文学と人間とのかわり方を考えます。あわせて小説という形式の特徴や構造を学びます。さらに小説と、それをもとにした映画、マンガ、ミュージカルなどとの比較も考える手がかりにします。また、受講生は自分の選んだ小説をこの授業の趣旨に沿って紹介する口頭発表を行います。

ここがポイント!

小説の構造や語りのテクニックなどについて少し勉強すると、今までよりもっと面白く作品が読めるようになります。

担当教員 | 谷田恵司

D 子どもと芸術をめぐって

子どもたちは全身をつかってアートにふれ、またその感動を表現します。美術的表現にとどまらず、身体や音、自然まで含む世界を子どもたちがどう受け止め、それを理解し表現する人になっていくのか、ワークショップなどの実践に学びながら、学生自身の感性も問い直す学びの場になるように専門家からリレー形式で提案していきます。

ここがポイント!

子どもたちとアートについて実践例をとおして学び、手と身体と頭を使って体験する学びを行います。

担当教員 | 森田浩章 / 結城孝雄 / 細田淳子 / 松澤綾子 / 岡本恵

E しなやかな心とからだ

本講座では、人と人とのつながりをとりもつバーバル・コミュニケーション(ことば)とノンバーバル・コミュニケーション(ことばならざることば)に着目し、その役割や有効性といったものをプレイ、ムーブメント、ドラマ、ソングといった表現活動から体感するとともに、芸術的活動が心身の成長や他者とのコミュニケーションに及ぼす創造的作用について体験的実証的に考えていく。

ここがポイント!

しなやかな心とからだを涵養するための知見と方略を、3人の講師によるワークショップを通して探究します。

担当教員 | 花輪充 / 吉村温子 / 鴨志田加奈

F 美しい文章の書き方

美しい文章とは、華やかな装飾を施した文章のことではありません。執筆の目的や論理が明確で、書き手の思いや考えが読み手に的確に伝わる文章のことであると考えます。自分の意見や情報を効果的に伝達する力を養うとともに、読み手に書き手の思いや要旨が伝わる文章を作成するための基礎を学んでいきましょう。自己PR、敬語を用いた手紙、論理的な文章による小論文等を書き、表現方法や内容を履修者間で共有します。

ここがポイント!

自分の考えや思いを読み手にわかりやすく伝えるための、文章表現の知識と技術を身に付けることができます。

担当教員 | 渡邊重人

G たしかな暮らしに学ぶ

日常の暮らしの中で忘れられつつある大切な生活様式・考え方を、衣食住の3つのテーマから再発見し、現在の暮らしにどう活かせるかを考えていきます。衣食住をそれぞれ専門とする3人の先生によるオムニバス形式の授業です。衣はゆかたの着付け、食は出汁からつくる味噌汁、住は古民家見学といった体験的な授業として実施します。7月の日曜日には古民家見学を予定。

ここがポイント!

3人の先生による暮らしを考える多角的総合的授業です。現代の自分たちの暮らしを今一度見つめ直してみましょう。

担当教員 | 手嶋尚人 / 加藤和子 / 金子真希

H 手話に学ぶ

「日本手話」は、皆さんが日ごろ話している日本語とは異なる体系をもった言語です。文法的な働きをもつ顔の表情や視線などで発せられたメッセージを目(視覚)で受け取る「視覚言語」です。音声とは違ったコミュニケーション様式(モード)に慣れ、ろう文化に接することで、多文化共生社会の一員として日本手話を少しでも話せるようになることを目指します。

ここがポイント!

手話の様式(モード)に慣れ、コミュニケーションを円滑にすすめるための手だて(ストラテジー)を身につけられるようにする。

担当教員 | 柳匡裕 / 村越啓子

I 対人関係の心理学

どのような形式であれ、他者との関係を全く持たずに社会生活を営むことは難しいでしょう。良い人間関係は生活を豊かにしますが、人間関係が上手くいっていないと感じる場合は大きなストレス源になってしまいます。本科目では、日常生活へ大きな影響を及ぼす上に避けて通ることができない「対人関係」について、心理学的な視点に基づく知識と技能を学んでいきます。

ここがポイント!

対人関係に影響を与える心理学的な要因について、知識を身につけ、体験を通じた学習を目指します。

担当教員 | 齊藤和貴

J 生老病死とケア

老いることも死ぬことも、人間という儂い生き物の美しさです。また私たちは独りで生きているのではなく、他者たちと共に、ケアケアされる関係を生きています。本授業では、大学生の心身問題から話を始め、哲学と宗教における自己、他者、世界についての考えを学び、現代社会で直面する具体的な問題を解決していくための実践的な力を身につけることを目指します。

ここがポイント!

哲学や宗教、思想に関心をもち、現代社会の諸問題に幅広く関心を持ち、それらについてグループワークを通じて話し合うことができます。

担当教員 | 中山純一

Ⅰ K 学び方を学ぶ

学ぶこと=学習は、学校だけでなく私たちの生き方と深く関り、時代とともに大きく変わってきています。従来の知識・スキルを「蓄積する学び」から、「活用する学び」への大転換が世界中で実践されています。従来の学習観を経験と理論から振り返り、21世紀型の学習観の現在を確かめることで、これからの自分の学び方を再確認し、構築する内容です。

ここがポイント!

学ぶ意味を考え、自分自身を成長させていく視点が持てる授業です。教職志望者には、従来の学習観と21世紀型の学習観の差異を知る内容でもあります。

担当教員 | 結城孝雄

Ⅰ L 心のレジリエンス

レジリエンスとは、人が落ち込みから回復する力や、逆境の中で適応できる力を表す概念です。レジリエンスの研究や測定方法を学び、レジリエンスを高めるとされている介入技法について体験的に学びます。さらに、個々人のレジリエンスの多様性についても理解したうえで、レジリエンスの考え方をどのように応用できるかについて、グループワークを通して考えます。

ここがポイント!

レジリエンスの概念およびその多様性を体験的に理解し、自分自身の心や他者の心の理解に応用することができます。

担当教員 | 平野真理

A 対人ケア職における英語と異文化コミュニケーション

医療・看護・介護・保育・教職・児童支援などの対人コミュニケーションが発生するケアの場面において、適切なコミュニケーションを果たし、また文化的な相違に留意して国際的なキャリアを築くための英語とその背景を学び、英語力とコミュニケーション力を向上させることを目標とします。具体例に基づくディスカッションを通し、日常の中にある異文化理解を学びます。

ここがポイント！

国際化していく対人ケア職の現場において、文化差異についての理解は必須です。「伝わる」ケアを手に入れましょう。

担当教員 | 並木有希

B 世界のことばと事情

この講座では世界の主要な言語と文化に関してその諸特徴を概観できるようになります。元大使夫人や海外生活の長い文化人、また多言語話者をゲストスピーカーとして招き、日本と当該国の生活習慣や制度上の違い、言語や価値観、コミュニケーション形態の違いなどに関する講義を聞く事を通して、主体的、能動的に、より深く世界を知ろうとする知的好奇心を喚起していきます。

ここがポイント！

多文化・多言語への深い理解を目指す態度の育成を図り物事の有り様を見定める際の観察眼、思考力を養う事ができるようになります。

担当教員 | 酒井藤恵

C 多様性を考える

私たちは、コロナ禍を経験する中で、社会のさまざまな課題に向き合うことを余儀なくされています。ジェンダー、セクシュアリティ、障害の有無、国籍など、多様な背景をもつ人が暮らす社会の中で、どんなことが課題となり、それに対して、どのような取組が行われてきたのでしょうか。多様な背景を持つ人たちが尊重され、共に暮らしていく社会のあり方について考えましょう。

ここがポイント！

日本社会の中に暮らす多様な人たちへの想像力を持ち、自分の問題として、「社会の課題」を考える力を養います。

担当教員 | 瀬山紀子

D 「地球の旅」身体文化に着目して

いろいろな国や地域をバーチャルトリップします。スポーツや舞踊、しぐさや身振りなど身体に関わる文化を手懸りに比較考察し、共通点や相違点に気づき、民族衣装から風土や習慣が、民族舞踊から歴史や生活が見えるでしょう。習得した視座から自分の尺度で異文化の理解を図ります。日本の舞踊、しぐさ、表現法などの特徴についての知識も深めます。

ここがポイント！

色々な国や地域に関して知識が深まり、価値観の違う文化に遭遇しても、お互いを尊重したコミュニケーションがとれます。

担当教員 | 梅谷千代子

E 情報社会とライフスタイル

今、社会・ライフスタイルに大きな変化が生じています。この変化にはSociety5.0と呼ばれる「技術革新」と持続可能な開発目標(SDGs)に代表される「持続可能な社会の構築」という2つの要因が関わっています。これら2つ要因が社会・ライフスタイルをどのように変えようとしているのか、について学びます。

ここがポイント！

Society5.0と呼ばれる情報社会が向かう社会、SDGsへの取組を通して持続可能な社会の構築を意識した生活・ライフスタイルについて説明することができます。

担当教員 | 新関隆 / 大井龍 / 大塚彩美

人間教育 演習科目 >>> 社会と文化

| F 共生社会を生きる - インクルージョン

共生社会(インクルージョン)とは、多様な人々がそれぞれの個性を生かしながら共に生きること。現実にある差別や偏見、貧困、虐待など不利益や生きづらさを知り、私たちにできることは何か、一緒に考えていきたいと思えます。国連『持続可能な開発目標(SDGs)』を意識し、「Leave no one behind(誰一人取り残さない)」活動として前期は多分野、後期は障害に焦点を当てます。

ここがポイント!

現代社会に生じている様々な「生きづらさ」について理解し、その解決に向けて自らの意見を考え、述べるすることができます。

担当教員 | 田中恵美子/小島直子

| G 国の仕組み・社会の制度

国際的な視点から、国の仕組みと社会の制度について学びます。「歴史」については、「ベルリンの壁」と人権、日米関係と平和に関する問題、「時事問題」については、日本、アメリカ、ヨーロッパ、アジアに関する動向、そして「社会の制度」については、政党、選挙、移民、社会保障、年金制度、都市化、高齢化、少子化に関する課題について、それぞれ学びます。

ここがポイント!

国の仕組みと社会の制度について学び、現代社会の特徴と課題について独自の視点から説明することができます。

担当教員 | 清水聡

| H 世界の宗教と社会を知る

宗教、という語を耳にすると、現代の日本人の多くが身構えてしまうかもしれません。しかし、社会のあり方の数だけ、それに応じた宗教(的なもの)が存在していると考えるとき、様々な宗教や、宗教にまつわるキーワードについて理解しようと努める試みの意義は決して小さくないでしょう。本講座では「宗教学」の客観的な視点とともに、世界の宗教文化を検討します。

ここがポイント!

社会における宗教の様相と概要について知り、多様な文化における人々と宗教の関係について、比較しつつ学びます。

担当教員 | 中島和歌子

| I 人類の多様な文化

世界各地の多様な文化を、講義と映像から学びます。人類はそれぞれの環境の中で、より良く生きるための経験や知恵を文化として育んできました。異なる文化は他者には奇異に映るかもしれませんが、当事者の立場で捉えれば、自然なものです。信仰、神話、儀礼など毎回のテーマを変えながら、他者への理解を深め、柔軟な思考を養うとともに、人間の本質を探究していきます。

ここがポイント!

様々な文化を比較の視座から学び、それらの違いから、自身のアイデンティティを再確認し、物事を客観的に捉える視野を養います。

担当教員 | 高橋孝代

| J 日本人と日本文化

国際化が進む現在において、自国の文化を知ることは、自分自身のルーツを知ることであり、他国の文化を尊重する基本です。長年に渡り我が国で育まれた文化は、現代日本の様々な文化の基になっており、気づかぬところで我々の生活を豊かなものにしていきます。絵巻・物語・祭・宗教・年中行事・遊楽を通じて、日本文化を自ら考える、体験することを学びます。

ここがポイント!

日本文化の特色について、基本的な知識を身につけ、日本文化を自らの言葉で説明し、多くの人に向けて発信する力を付けることができます。

担当教員 | 小谷量子

K まちづくりと起業のススメ

まちづくりとは、まちの資源を活用し、まちの課題を解決したり、まちの価値を創出したりする活動のこと。また、起業とは意外と身近なもので、日々の暮らしのなかにたくさんの芽があり、そして日々の暮らしを豊かに育むもの。本講座では、とくにNPO・市民主体のまちづくりに着目し、今後のまちづくりについて考えるとともに、まちづくりにおける起業について学びます。

ここがポイント！

よりよいまちのあり方を模索していくための視点を身につけ、そうした視点で自身の生活を捉え直していくことを実践していきます。

担当教員 | 吉野裕之

L 暮らしと法律

私たちは、日常生活を送っていく上で、必ず法律に関係をもちます。消費生活、家族生活、交通事故など。この科目は、民法という法律の中で、誰もが少しでも、その知識を必要とする領域を学びます。人の出生に関するもの、遺言、相談など、また、結婚や離婚、養子縁組など。また、取引関係では、契約、不法行為(損害賠償など)を学び、社会の中で法をどのように使ったらよいか考えます。

ここがポイント！

法律の世界に独特な思考方法(Legal Mind, think like a lawyer)を身につけることができます。

担当教員 | 大橋憲広

M サブカルチャから見る日本

海外から見たとき、現代の日本文化を代表するものは何でしょうか。アニメ?マンガ?それともラーメン?日本の文化のフロントランナーは、今やサブカルチャであるかのように見えます。若者世代の文化を超え、国際市場にも進出した日本のサブカルチャをめぐる、食からクラブまで<カルチャ>全般に精通し、海外体験も豊富な講師が、新しい視点を紹介します。

ここがポイント！

マンガ、映画、音楽などを通じて異なるバックグラウンドの人とも交流できる、さまざまなものの見方を身につけます。

担当教員 | 曾根博美 / 湯山玲子

N メディア情報と社会を読み解く

現代社会を生きる私たちは、日々多様なメディアと関わりながら、生活をしています。この講義では、インターネット、SNS、テレビ、広告という4つのメディアに関する実際の事象をとりあげ、各事象の背後にあるメディアの特徴や人間の心理・行動について、社会心理学等の知見を援用しながら、グループワークを通して考えていきます。

ここがポイント！

メディアを介した情報を適切に理解する力や、メディアにまつわる社会現象を読み解く力を高めていきます。

担当教員 | 天野美穂子

O 世界の動きと私たちの暮らし

大航海時代、私たちの暮らしを変えるグローバル化はじまったとされます。それは産業革命を経て、21世紀の今日、国際経済を中心に世界の動きに影響を与えています。新しい格差、インターネットとコミュニケーション、航空産業と人々の移動は、私たちの暮らしの風景をどのように変えるのでしょうか?グローバル化と日本との関係について学びます。

ここがポイント！

国際社会や国際経済の視点から、グローバル化と世界、さらには、昭和、平成、令和へと至る日本の歩みについて学びます。

担当教員 | 清水聡

人間教育 演習科目 >>> 自然といのち

A 社会とエネルギー

環境活動家のグレタ・トゥーンベリさんの話題が大きく取り上げられるなど、持続可能なエネルギー確保・環境保全是、これまで以上にわれわれの社会の大きな課題です。経済発展との両立がその課題であることを意識し、エネルギーに関わる社会背景から最新デバイスまで、双方向コミュニケーションによる全員参加型の議論をしていきます。

ここがポイント！

人類の運命に関わるエネルギー課題に対して、総合的な視点で理解を深めましょう。理科科目が苦手な方も歓迎です。

担当教員 | 向山大吉 / 奈良洋希

B 身近な自然に学ぶ

暮らしの中に多くの自然があります。しかし、意外と身近にある自然に目をとめたり、それを目で楽しむ余裕がありません。そこで、この授業では、板橋キャンパスをフィールドに、自然と触れる遊びを通して自然を感じるとともに、キャンパス内の自然を把握し自然環境マップを製作します。さらに、それらで得た知識を基に、キャンパスの自然をめぐる情報を紹介する動画を作ります。これらの活動を通して、身近にある自然を発見して、めでもられるようになりましょう！

ここがポイント！

グループワークを通して多面的に自然と触れ合います。フィールドワークを行い発見したことを視覚化します。

担当教員 | 佐藤康富

C 自然と倫理

現代社会は、自然に対して大きな影響を及ぼす一方で、自然から大きな恩恵を受けています。人類は人類のために自然を利用し、また人類のために人類を利用しています。そこには様々な観点から高い倫理観が求められます。講義では、豊かな人間性を養い、幅広い視点を獲得するために、倫理について多面的に理解し、倫理的な課題について自ら考えることを求めます。

ここがポイント！

自然科学を学ぶにあたり関連する倫理的な事柄について、基本的な知識を身につけ、基本的な問題について自らの言葉で説明できます。

担当教員 | 関口雄祐

D 自然と災害

人間と自然とのかかわり方について、「自然災害」をテーマに追究していきます。日本は地震、火山、台風など世界的にみても自然災害が最も多い国の一つです。この自然災害の要因を自然環境(地形環境と気候環境)の側面から考察していきます。また、地図や映像判読の授業を通じ、災害予測や被害想定などのスキルを身につけ、災害適応力を育むことを目的としています。

ここがポイント！

講座のイメージは(地理+地学)÷2です。その他、災害適応力を身につけるために、大学周辺のフィールドワークを実施します。

担当教員 | 小関勇次

E 生態系と生物多様性

ある地域に棲む全ての生物と、それら生物を取り巻く無機的(非生物的)環境のまとまりを示す概念を生態系といいます。生態系の仕組みを理解し、人間と生物の関わりや生態系保全について、受講生の皆さんと考えていきます。

ここがポイント！

生物多様性について身近な生物の観察から学び、生態系保全について、生物と生物および生物と環境との関係から理解を深められるグループワークを実施します。

担当教員 | 戸金大

F 科学の歴史

地球が太陽のまわりを回っていることや、あらゆる生物は原始的な生命から進化してきたことなど、わたしたちがこの世界について知っている様々な事柄は科学によって明らかにされてきました。科学という営みはどのようにして誕生し、人間の世界観や社会をどう変えてきたのでしょうか。古代から現代までの科学の歴史を概観し、科学についてあらためて考え直します。

ここがポイント!

科学を発展させてきた人々やその考え方、社会的背景などについて基本的な知識を学び、科学の全体像を見渡す視点を獲得します。

担当教員 | 中尾暁

G ロボットと人工知能

ロボットや人工知能が日常生活に現れるようになりました。あなたの生活はどう変わっていくのでしょうか?便利になる部分、思ったほどの効果がない部分、様々に分かれていきます。これからどのような社会的問題が起こると思いますか? 社会や生活の今後を予測するためにも、技術の成り立ちを知り、また社会受容の歴史をふりかえてみましょう。

ここがポイント!

ロボットや人工知能と一緒に暮らしていくとはどういうことなのか、考えてみませんか?

担当教員 | 村上祐子

H 脳科学に学ぶ

脳は、すっかり日常会話に出てくる臓器になりました。みなさんも「脳に良い」「脳のせいだから」「〇〇脳」などと結構言ってしまうのではないのでしょうか。しかし世間には脳にかんする怪しげな説も流れています。こうした情報に惑わされないためにも、本講義では、善悪(道徳)の問題を中心にして脳科学の基本と歴史を学び、人生や社会との関係を考えていきます。

ここがポイント!

科学が私たちの人生にとってもつ意味について考えるのがメインとなる講義です。理系科目は苦手という方の受講も歓迎します。

担当教員 | 片岡雅知

次の時代に 必要なスキルを 身につける。

「言語文化科目」は、グローバル化社会に対応し、英語力の向上と、いろいろな国の人たちとのコミュニケーション力を育むとともに、その文化を学ぶことにより、国際社会の深い理解へつなげます。第1外国語の「英語」は必修科目と選択科目に分かれています。第2外国語はすべて選択科目として設置され、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「ロシア語」、「語学研修」があります。また、留学生を対象とした、「日本のことばと文化」が設置されています。

「情報関連科目」は、現代社会の必須要素である情報技術や知識について、専門教育の中で、学ぶことができます。

「体育関連科目」には、講義科目と実技科目があります。生涯にわたり、体力・健康を維持し、スポーツや運動を有意義な形で日常生活に取り入れ、健康で豊かな人生を送るための知識と方法を習得することができます。家政学部と人文学部では、教員免許状を取得することができます。

「教職課程科目」のうち、基礎的な科目については、教職課程を履修していない人も履修することができます。

「言語文化科目」
グローバル化社会への対応

「情報関連科目」
高度な情報活用技術や知識を学ぶ

「体育関連科目」
健康のための知識と方法を習得

「教職課程科目」
全ての学科で教員免許状取得が可能

言語文化科目／情報関連科目／体育関連科目／教職課程科目 | 一覧表

区分	科目名	単位数	必選別	標準開設年次				開設学科・専攻														
				1		2		3		4		児学	育支	児教	服美	環教	表現	栄養	管理	英コミ	心力	教福
				前	後	前	後	前	後	前	後											
言語文化科目	英語ⅠA	[1]	必	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語ⅠB	[1]	必	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語ⅡA	[1]	必		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語ⅡB	[1]	必		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語上級A	[1]	選			○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語上級B	[1]	選			○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ドイツ語Ⅰ	[1]	選	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ドイツ語Ⅱ	[1]	選		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フランス語Ⅰ	[1]	選	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フランス語Ⅱ	[1]	選		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語Ⅰ	[1]	選	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中国語Ⅱ	[1]	選		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コリア語Ⅰ	[1]	選	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	コリア語Ⅱ	[1]	選		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本のことばと文化ⅠA	[2]	必	◎						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本のことばと文化ⅠB	[2]	必	◎						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本のことばと文化ⅡA	[2]	必		◎					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日本のことばと文化ⅡB	[2]	必		◎					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	語学研修A	4	選			◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	語学研修B	4	選			◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
語学研修C	4	選			◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
語学研修D	14	選			◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
語学研修E	14	選			◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
語学研修F	30	選			◎				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
情報関連科目	情報活用	[2]	必	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	データサイエンス基礎	[2]	選	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
体育関連科目	体育と健康	1	選		◇				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	からだとスポーツA	(1)	選	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	からだとスポーツB	(1)	選		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	自然とスポーツA	(1)	選		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	自然とスポーツB	(1)	選		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教職課程科目	教育原論	2	選		○				○	○												
	教育心理学	2	選		○				○	○												
	教育原論	2	選		○						○											
	教職基礎論	1	選	○							○											
	教育心理学	2	選		○						○											
	教育制度論	2	選			○					○											
	教育原論	2	選		○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教職基礎論	1	選		○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	教育心理学	2	選		○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教育制度論	2	選			○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

(履修の詳細については学生便覧、時間割表などで確認してください。)

コア科目

人間教育 基礎科目

人間教育 演習科目

言語文化科目・情報関連科目・体育関連科目・教職課程科目

人間力育成 実践科目

人間力育成 実践科目(自主講座)

言語文化科目

講義名 ▶ 英語Ⅰ A・B ★／英語Ⅱ A・B ★／英語上級 A・B／ドイツ語Ⅰ・Ⅱ／フランス語Ⅰ・Ⅱ／中国語Ⅰ・Ⅱ／
 コリア語Ⅰ・Ⅱ／語学研修A・B・C・D・E・F／日本のことばと文化Ⅰ A・B／日本のことばと文化Ⅱ A・B

人間社会において人と人とのコミュニケーションは不可欠であり、社会活動においてもその能力が強く求められています。現在のようなグローバル社会においては、誰もが最低限の英語力と異文化に対応できる力を身につける必要があります。さらに、世界には様々な文化があり、言語を通して文化を学ぶことができるよう、英語以外にもいくつかの言語文化科目が用意されています。アジア圏の言語やヨーロッパの言語を学ぶことで、文化の違いや考え方の違い、共通点を探してみましょう。「語学研修A・B・C・D・E・F」はグローバル教育センターの主催する語学研修に対応した科目となっています。研修先で外国語によるコミュニケーションの実践的な力を養います。「日本のことばと文化」は留学生の必修科目です。

ここがポイント! グローバル化した社会で活躍するために、国際共通語である英語力を向上させます。他言語も選択により学び、国際社会をより深く理解します。

英語関連科目

- 英語ⅠA
英語ⅠB
(必修)** 教必 保育士必 英語コミュニケーション能力と、グローバルに対応できる姿勢を身につけます。特に、話す(発信)・読む(受信)のスキルをバランスよく学びます。
- 英語ⅡA
英語ⅡB
(必修)** 英語コミュニケーション能力と、グローバルに対応できる姿勢を身につけます。特に、書く(発信)・聞く(受信)のスキルをバランスよく学びます。
- 英語上級
A・B
(選択)** 英語ⅠA・ⅡA、ⅠB・ⅡBで習得したコミュニケーションの能力を用いて、自らの意見と情報を発信する力を付けます。

その他の外国語

英語の他に選択科目として「ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」「フランス語Ⅰ、Ⅱ」「中国語Ⅰ・Ⅱ」「コリア語Ⅰ・Ⅱ」があります。

- I
(選択)** コミュニケーションツールとして用いることができるように、初級として基礎を習得します。あわせて文化・社会・歴史についての知識を深めます。
- II
(選択)** 「I」で習得したコミュニケーション力を高めるために、より発展的な学習を通し、目的に応じた会話力、より深い知識を習得します。

情報関連科目

講義名 ▶ 情報活用 ★ 教必 保育士必

この科目ではこれからの情報を基盤とした社会において必要となる情報活用力を身につけることを目的とします。具体的には、他者とのコミュニケーションを有意義なものにするための情報デザイン力とデータから新たな知見を得るためのデータサイエンスの学修に必要な基本スキルを演習により身につけます。

情報活用力		
情報デザイン力	データサイエンスの基本スキル	
Word	PowerPoint	Excel

講義名 ▶ データサイエンス基礎

社会で活用されているAI・データサイエンスについての知識を深め、自らデータを扱う能力を身につけます。この科目は履修者数に制限があります。

ここがポイント! Society 5.0の社会で活躍するために必要なPC操作スキル、情報モラル、データサイエンスの基礎などを学びます。

体育関連科目

講義名 ▶ 体育と健康 ★／からだとスポーツA・B ★／自然とスポーツA・B

講義科目として「体育と健康」、実技実習科目として「からだとスポーツA・B」、「自然とスポーツA・B」で構成されています。これらの科目は生涯にわたって皆さんがスポーツや運動を有意義な形で日常生活に取り入れ、健康で豊かな人生を送るための知識と方法を習得することを大きな目標としています。

具体的な目標

- 1 体力を維持増進し、健康を管理する習慣を獲得するために必要な知識や態度を学びます
- 2 運動やスポーツの楽しさを再確認し、身体や心への効果を実感します
- 3 充実した大学生活を送るために社会的な規範を学び、学生同士あるいは教員との円滑なコミュニケーション力を形成します

ここがポイント!

運動が得意な人もそうでない人も、自分なりに楽しく体を動かす授業。友達も増えます。思い切り体を動かして、心も体もスッキリ!

講義科目

体育と健康
(選択)

教選必 保育士必 生涯を通じて活力あるライフスタイルを形成するための理論と実践方法を学び、自分に合った心身の健康習慣を身につけます。

実技実習科目

からだ
と
スポーツ
A・B
(選択)

教選必 保育士選必 運動能力や体力で評価しないので、苦手な人も安心して運動・スポーツに取り組めます。楽しみながら自己の健康を管理します。ボールゲームス、テニス、バドミントン、卓球、シェイプアップ、ボディコンディショニング等

自然と
スポーツ
A・B
(選択)

自然環境を利用したアウトドアスポーツを取り上げ、集中実習形式にすることで学内では経験できない内容を展開します。キャンプ、スクーバダイビング、スキー・スノーボード等

※体育関連科目は教職課程履修者と保育士課程履修者には選択必修科目(合計2単位)となっており、「体育と健康」「からだとスポーツA・B」が該当科目となっています。

※「自然とスポーツA・B」は定員があり、希望をしても抽選になることがあるため、履修できないことがあります。1年次の12月に事前参加予約登録会がありますので、希望者は必ず出席しましょう。

教職課程科目

講義名 ▶ 教育原論 ★／教職基礎論 ★／教育心理学 ★／教育制度論 ★

教員免許状の取得にかかわる科目のうち「教育原論」「教職基礎論」「教育心理学」「教育制度論」の4科目を共通教育科目としています。教職を志望する方は1年次に教職課程の履修登録をしたうえで、教職課程の基礎的な科目として位置づけられるこれらの科目を必ず履修していただき、あなたの教師としての適性をみる機会としてください。

本学では、子どもに対する深い愛情と教職に対する情熱とともに、豊かな感性、高い見識および卓越した指導力・実践力を有する教師の養成を目指しています。そうした教師を目指して一歩ずつ着実に取り組んでいきましょう。

「教育原論」

「教職基礎論」

「教育心理学」

「教育制度論」

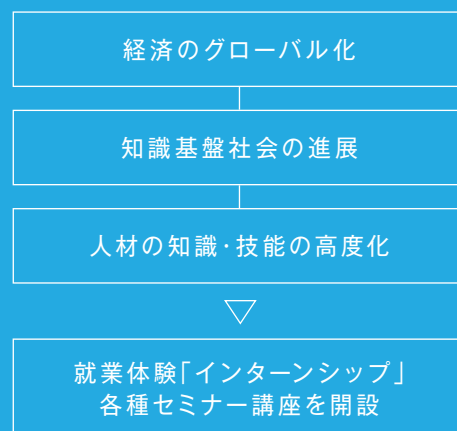
ここがポイント!

教職課程の単位としても共通教育科目の単位としても数えることができます。あなたの教師としての適性をみる機会としてください。

自分を知り、社会を知り、 共感型リーダーシップを 身につける。

共通教育科目のコア科目においては、建学の精神「自主自律」、生活信条「愛情・勤勉・聡明」について考え、大学でどう学び・社会でどう活かすのかを学んでいきます。そして、それらの学びと平行して、より実践的に社会で楽しく生き抜いていくための人間力を身につけていくことが人間力育成実践科目の目的となります。

「キャリア形成支援講座」では、学生が自分の将来像と社会・職業の関係を学び、自らの志を持って進むべき道を決かなものにし、その為の資質・能力を備えることを目指します。この目的のために、実際に就業を体験する「インターンシップ」、その為の準備段階としての各種セミナー、一般常識等基礎能力を高める各種講座を開設しています。「実践力養成セミナー A・B」では、これからの社会において、とても重要となる共感型リーダーシップを身につけることで人間力の向上を計っていくことを目的としています。Aでは、レクリエーションをとおして、Bでは、合意形成を行っていく方法により養成していきます。



人間力育成 実践科目 ≫ ≫ ≫ キャリア形成支援講座 | 単位取得方法

キャリア支援課では、みなさんが将来、希望する進路にすすめるよう年間を通してセミナー・講座を実施していますので、ぜひ受講してください。「キャリア形成支援講座」のポイント対象となるセミナー・講座を受講し、条件を満たし報告書を提出してポイントをためることにより単位を修得することができます。

01

講座を
選ぶ

キャリア形成支援講座のポイントとなるセミナー・講座を選ぶ

複数のセミナー・講座の受講が可能



02

受講

セミナー・講座を受講する

セミナー・講座後のアンケートの回答をもって出席確認とする。

その為、キャリア形成支援講座のポイント認定希望者は確実に回答すること。

※インターンシップ、論作文対策講座については、別途条件あり。



03

報告書

セミナー・講座最終日後、指定期間内に報告書を受け取る



04

報告書
提出

提出期限までに報告書を提出する

出席回数等の条件を満たしていることが確認できた者が、報告書を提出できる。

必ず各講座の指定する締切日までに提出すること。締切日を過ぎての受け付けはできません。

(キャリア支援課窓口へ)



05

履修
登録

15ポイント獲得後、原則として翌年に履修登録する

科目名：キャリア形成支援講座



06

単位
取得

2単位が得られる

成績は合否で判定

**注意
事項**
!

●履修登録は15ポイント獲得後!!

単位認定を受けられるのは1度のみです。

1～3年生までに通算15ポイントを獲得すると、翌年、履修登録手続にて2単位が得られます。

4年生ではポイントは得られません。

※授業・実習等により講座に出席できない場合は、必ず事前に申し出てください。

人間力育成 実践科目 ≫≫ キャリア形成支援講座

コア科目

人間教育 基礎科目

人間教育 演習科目

言語文化科目・情報関連科目・体育関連科目・教職課程科目

人間力育成 実践科目

人間力育成 実践科目(自主講座)

	1年次	2年次
目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学生活への定着を図る ● 大学での「学び」がどのように生き方に繋がるのかを考える ● 「学び」の土台であり、これからの就職活動に繋がる基礎学力の強化を図る ● 目的、目標を持った大学生活が、就活や今後の人生を生き抜く力となることを認識する ● コミュニケーションの基本について理解する ● 他者との協働やグループワークを通して、自己発見を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性が働くこと、仕事を持って生きていくことの意義を考える ● 将来の目標を踏まえ、必要に応じて大学生活のあり方を修正する ● 自分の就きたい職業および企業が求める人材を知る ● 自分の適職について考えるにあたり、自己理解、採用されるための表現方法について考える ● 社会人としてのマナーを身に付ける ● 他者との協働やグループワークを通して、自己発見を深める
キャリアセミナー	<ul style="list-style-type: none"> ① 大学生活スタート ～毎日を20倍楽しくする方法～ ② ワタシ理解 ～本当の自分を知ろう～ ③ シゴト探求 ～いま、気になる業界・職種～ ④ 先輩のキャリアデザイン ～何よりもタメになる内定者体験談～ ⑤ インターンシップ報告会 ～みんなが参加する理由～ ⑥ 就活先取り!書類・面接対策 ～早すぎる"対策はない"～ <p>▶ 5回以上参加、報告書提出で5ポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① ミライ設計 ～イマを知る!ミライが見える!～ ② ワタシ理解 ～本当の自分を知ろう～ ③ シゴト探求 ～いま、気になる業界・職種～ ④ 先輩のキャリアデザイン ～何よりもタメになる内定者体験談～ ⑤ インターンシップ報告会 ～みんなが参加する理由～ ⑥ 就活先取り!書類・面接対策 ～早すぎる"対策はない"～ <p>▶ 5回以上参加、報告書提出で5ポイント</p>
基礎力養成講座	<ul style="list-style-type: none"> ① 論作文対策講座 <ul style="list-style-type: none"> 【対象】大1・大2 【内容】 論作文を作成し文章力及び論理性を養う。全3回(講演・演習・課題提出) ② 非言語対策講座 <ul style="list-style-type: none"> 【対象】大1・大2・大3 【内容】 就職採用選考の筆記試験対策として、非言語分野が苦手な方、短時間で簡単に解くコツを習得したい方、問題の形式に慣れたい方にお勧め。四則演算、分数、小数、%の計算・比の計算、食塩水の濃度算、二重の割合、表の読み取り、損益計算、分割払い・清算、仕事算・速度算、場合の数、確率、集合、対偶・帰納法・演繹法・仮説 等、非言語(算数・数学系)を基礎からしっかり学ぶ。全12講座 <p>▶ 全3回参加、報告書提出で2ポイント</p>	
インターンシップ	<p>【インターンシップとは】 学生が在学中に、企業などにおいて自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと。</p> <p>【インターンシップの目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 社会のしくみを理解する ② 働くイメージを持つ ③ 自分の強みと課題を明確にする ④ 就業体験を通じて、大学での学びの重要性を知る 	
	<p>STEP 1</p> <p>事前指導</p> <p>【全体講義】【実践】 それぞれ1回ずつ参加する。 【全体講義】 manabaで動画を視聴し、レポート(A4で1枚)を提出。 【実践】 事前予約制。複数日開催。先着順。</p>	<p>STEP 2</p> <p>実習願い提出</p>

※ インターンシップについての詳細は、インターンシップガイダンスに参加し確認してください。

※ 掲載されているセミナー・講座内容は2022年度のもので、内容は年度毎に変更する場合があります。

3年次

- 就職活動の流れを理解する
- 社会人に求められ、採用試験に必要な基本的マナーを理解する
- 志望業界・職種などを選択するための各種情報を収集する
- 採用試験で自己をアピールできる準備をする
- 企業の採用情報を収集する
- 他者との協働やグループワークを通して、自己発見を深める
- 早期選考に備えた対策をする

4年次

- 学生自身の準備段階に応じた支援を活用し、内定を獲得する

就職セミナー

- ① 就活スタート
～内定をゴールにしない就職活動の進め方～
- ② 自己分析
～徹底的に自分と向き合い自分の幸せを考えよう～
- ③ 自己PR・ガクチカ
～通る書類と通らない書類のちがいを～
- ④ 業界・職種・企業研究
～自分に合った仕事はなにに?～
- ⑤ 志望動機
～志望動機はコピペできません!!～
- ⑥ GD対策
～通過する秘訣とは?～

5回以上参加、
報告書提出で
5ポイント

8回以上参加、報告書提出で6ポイント

STEP 3

インターンシップ実習参加

5日間以上及び合計35時間相当以上
※実習中は毎日「実習日誌」を書き、担当者に確認してもらう。

STEP 4

事後プログラムへの参加

実習を経て学んだことを、学生間で共有し振り返りを行う。

STEP 5

実習日誌・報告書提出

事後プログラムで配付する報告書を記入の上、提出

上記 STEP 1～STEP 5を行うことで15ポイント。

単位認定を受けられるのは1度のみです。

1～3年生までに通算15ポイントを獲得すると、翌年、履修登録手続にて2単位が得られます。

4年生ではポイントは得られません。

人間力育成 実践科目 ≫≫≫ 実践力養成セミナー A (レクリエーション・リーダー養成)

今年度も、新型コロナウイルスの感染状況によっては大きく授業内容を変更する場合があります。具体的にはオンラインを含めた三密を避ける授業展開、履修者数の制限(40名程度)を行い、希望者数が多い場合には選出を行います。以下は昨年度開講予定であった授業内容になります。児童教育学科の学生は「レクリエーション実践演習」を履修してください。

この授業は、「楽しさを体験する」時間と「楽しさを組み立てる」時間で構成されています。まず参加者として様々なレクリエーション種目の楽しさを体験しましょう。次に、その楽しさの構造を理解し、指導者の立場から組み立てて相手に贈る方法を学びましょう。この授業は、教員(幼小中高栄養養護)を目指している人、こどもたち、お年寄り、ハンデのある方を対象としたボランティアに参加する人には特にヒントになるプログラムです。

担当教員 | 木村 博人 / 北原 澄高

授業計画 (夏休み期間中の集中授業を予定しています)

	1日	2日	3日
1	楽しさを体験する アイスブレイクゲーム1	楽しさを体験する 協調系PA(※1)系ゲーム	楽しさを体験する ニュースポーツ1
2	楽しさを体験する アイスブレイクゲーム2	楽しさを組み立てる PA系ゲームの仕組み	楽しさを体験する ニュースポーツ2
3	楽しさを組み立てる アイスブレイクの仕組み	楽しさを組み立てる PA系ゲームを贈る	楽しさを体験する ニュースポーツ3
4	楽しさを組み立てる アイスブレイクを贈る	楽しさを体験する グループワークトレーニング	楽しさを組み立てる ニュースポーツの仕組み
5	アイスブレイクのまとめ ふりかえりとまとめ	楽しさを組み立てる GWT(※2)の仕組み	レク・リーダーに成る ふりかえりとまとめ

授業の到達目標

- 1 様々なレクリエーション種目の楽しさを体験する。
- 2 レク支援の仕組みを学ぶ。
- 3 レク種目の指導方法を学ぶ。

※1 PAとは、「プロジェクトアドベンチャー」のことです。体験学習法をベースにした教育プログラムです。 ※2 GWTとは、「グループワークトレーニング」のことです。 ☆日程はポータルで連絡します。 ☆この科目の単位はCAP制の対象外です。

人間力育成 実践科目 ≫≫≫ 実践力養成セミナー B (ファシリテーター養成)

ファシリテーションとは、グループワークや意見交換が円滑に進むように舵取りをすることです。ファシリテーションによってメンバー間の相互作用を高め、ありたい状態へ導くことが可能です。この授業ではファシリテーターに必要な基本スキル(アイスブレイキングの活用等)、問題解決の効果的な進め方、仲間の強みを引き出すポジティブなチームづくりを体験学習の形式で楽しく学びます。

チームづくりに興味がある人、教員をめざす人、企業で活躍したい人におすすめの授業です。

担当教員 | 松瀬 理保

授業計画 (夏期休暇中の集中授業を予定しています) ※全14回(3日間実施)

	1日	2日	3日
1	ファシリテーションとは	ファシリテーションスキル① : 傾聴・承認・質問のスキル	ポジティブなチームづくり : 概論、導入事例の紹介
2	ワークショップ体験① GW: レゴを使うゲーム	ファシリテーションスキル② : 合意形成(拡散と収束)	ワークショップ体験① GW: ペア・インタビュー
3	ワークショップ体験② GW: 体を動かすペア演習	模擬ファシリテーション① GW: 問題解決を促進する	ワークショップ体験② GW: ストーリー共有、内省
4	ワークショップ体験③ GW: 意見を整理する	模擬ファシリテーション② GW: グラフィックを活用する	全体のふりかえり・まとめ
5	体験のふりかえり 「アイスブレイクの効果」	体験のふりかえり 「ファシリテーターの役割」	

※GW: グループワーク

授業の到達目標

- 1 グループワークの効果的な進め方をゲーム形式で楽しく学ぶ。
- 2 ファシリテーションの基本を理解し、問題解決を促進できる。
- 3 みんなが主役になれるポジティブなチームづくりを学ぶ。

変化の激しい 時代を 生き抜くために。

変化の激しい、先行き不透明な21世紀社会を主体的に生き抜くためには、知識を臨機応変に組み替える能力や柔軟な問題解決能力、更には国際化・情報化によるコミュニケーション能力とメディアリテラシーの重要度が増します。一方では、規範的な意識の低下、行動の基準とそれを支える価値観の構築が課題となっています。「自主講座A・B」では、このような課題を抱える社会に対応すべく、所属する学科の専門性に限らず自身の興味関心を突破口に、専門以外の分野にも間口を広げ、総合的、横断的な知識や思考などを学んでいきます。また、協働して学ぶことにより、主体的な新しい人間関係の構築など、建学の精神「自主自律」を具現化する調和のとれた能力の育成を目指します。



01

活動
開始前

manabaのコースコンテンツに掲載されている「自主講座A」と「自主講座B」の講座内容一覧を参照し、行動計画を立てる

- 卒業年度の12月までに活動を終了できるよう、計画を立ててください。
- 講座内容の詳細は、各学科・部署等指定の問合せ先に確認してください。

02

活動
終了後

「自主講座A・B 報告書」を作成する

- 「自主講座A・B 報告書」に必要事項を記入してください。
- ボランティア活動や研修などの場合は、活動先より指導者等記入欄への記入および押印をいただいでください。
- 受講した証明となる資料は必要に応じて添付してください。
※報告書を作成する上で、ポイント認定などに関する不明点がある場合には、指定の問合せ先に確認してください。
- 自分の所属学科以外が問合せ先となっている講座の場合：次の「03 報告書提出」の前に、作成した「自主講座A・B 報告書」を指定の問合せ先に提出してポイント判定を受けてください。

03

報告書
提出

「自主講座A・B 報告書」等を共通教育推進室運営委員に提出する

- 「自主講座A・B ポイント確認表」に必要事項を記入し、「自主講座A・B 報告書」・受講の証明資料と合わせて自分の所属学科の共通教育推進室運営委員へ提出してください。

提出方法 データファイルまたは写真データを、manaba[レポート]の自分の所属学科のところへアップロード

提出期間 活動した年度の1月中(後期授業終了日まで)

04

ポイント
確認

取得ポイントを再確認する

- manaba[レポート]のコメント欄に、共通教育推進室運営委員からのコメント(当年度認定ポイント数および累計ポイント数)が記入されていることを確認し、自分の取得ポイントを再度確認してください。

05

履修
登録

ポイント数により、各自で履修登録を行う

登録方法 >>> 大学1~3年生

8ポイント貯まった翌年度の履修登録期間に、各自Web履修登録をしてください。

※8ポイント貯まる前に履修登録をしないでください。(成績が不合格となります)

登録方法 >>> 大学4年生

卒業学年でポイントを満たそうとする場合のみ、履修登録期間に、各自Web履修登録をしてください。

※8ポイントを満たすことが見込めない場合、その年度に「自主講座A・B」履修登録をしないでください。(成績が不合格となります)

注意事項 誤って履修登録した場合でも、登録の削除はできません。

06

単位と
成績

単位・成績を確認する

単位 共通教育科目 1単位

成績 成績は、『合格』と表記されます。ポイントを満たせなかった場合は、『否』と表記されます。

**注意
事項**

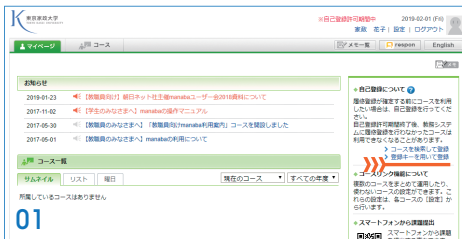


- 証明資料などの原本は、必要に応じて提出を求める場合がありますので、卒業するまで各自大切に保管しておいてください。
- 人数制限のある講座(例:テーブルマナー・観劇などの教養講座)は、各主催部署において、別途参加申込が必要となります。
- 授業を欠席しての活動は認められません。
- 全学年が学生教育研究賠償責任保険に加入しています。(入学時にしおりを配布)
[自主講座A・B]としてボランティア活動を行う場合、国内の活動に限り上記の保険が適用されます。
- 講座内容(中止含む)や「自主講座A・B 報告書」等の提出方法については、その年度の社会情勢や大学の方針により変更になることがあります。manaba等で公開されている最新の情報を各自確認してください。



まずは、「manaba」にログインしましょう。

※左画像内のオレンジ線部をご確認ください



01

登録キーを使用して、科目を登録します。

- 01 マイページから「登録キーを用いて登録」をクリックします。
- 02 登録キー「1579008」を入力します。
- 03 **コース名: 共通教育科目「自主講座A・B」**を確認し、間違いなければ「登録」をクリックします。



02

マイページから **コーストップページへ**

- 04 ログイン後、マイページのコース一覧から**コース名: 共通教育科目「自主講座A・B」**をクリックするとコースのトップページが表示されます。
- 05 「**コースコンテンツ**」、「**報告書・ポイント確認表**」の順にクリックすると、「**自主講座A・B 報告書**」(Wordファイル)、「**自主講座A・B ポイント確認表**」(Excelファイル)がありますので、ダウンロードして使用してください。



03

ログアウト

- 06 マイページ上部右上の「ログアウト」をクリックします。

※共同で利用するパソコンを使う場合は、ログアウトを徹底して下さい。ID・パスワードが悪用される恐れがあります。また友人であってもトラブル防止のためID・パスワードの貸し借りはしないでください。

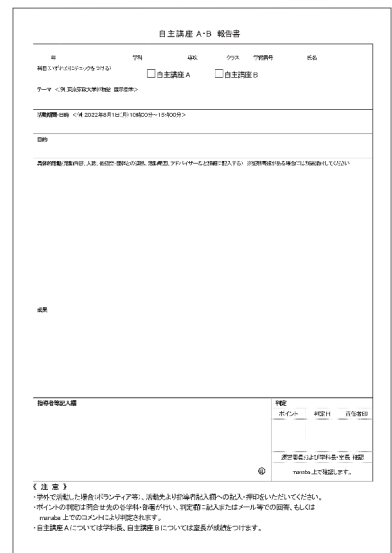


04

「自主講座A・B 報告書」
(サンプル)



05



【注 意】
 字で記載した報告書(Wordファイル)、添付した報告書(Excelファイル)の記入・印刷はいたしてください。
 ・ポイントの確認は報告書作成後、添付した報告書(Excelファイル)の印刷・確認、もしくは
 manaba 上のコンテンツから確認してください。
 ・自主講座 A については修了後、自主講座 B については履修が継続されます。



発行年	2022年4月
編集・発行	東京家政大学 共通教育推進室
構成	造形表現学科 手嶋 尚人
デザイン	株式会社 猪股企画事務所
印刷製本	上毛印刷株式会社
